

2023. 10. 13

---

プレスリリース

---

## 「内外の化繊工業の動向」

2023年 上半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。  
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。  
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

## 概 要 (2023 年上半期)

2023 年上半期の日本経済は、新型コロナ禍からの経済社会活動の正常化が進む中、賃上げの加速、緩和的な財政・金融政策などが下支えとなり、エネルギーコスト、物価高に加え円高進行が続くものの、全般的に景気回復が継続している。2023 年 4～6 月期の実質 GDP は年率 4.8% 増と 4 期連続プラス成長となった。

こうした中、繊維需要は、末端の衣料需要は回復傾向が続いた。ただし、その水準は新型コロナ禍前までは戻っていない。非衣料需要では、半導体不足の解消もあり、自動車生産が回復、自動車関連の繊維需要は明るさが見られた。一方、住宅着工や公共工事受注などが減速したことで、インテリア、産業資材関連の需要は全般的に減少した。

### 国 内

- 1) 衣料用：2023 年上半期の百貨店、量販店での衣類販売は 2022 年以降の経済正常化に伴い回復、百貨店の衣料品売上は 2022 年に続き 2 桁増となった。とりわけ、第 2 四半期以降、行動制限の解除に伴い、旅行、外出機会が増えたことで、ファッション分野の衣料需要は回復傾向となった。また、スポーツ、アウトドア分野も堅調に推移した。

家庭・インテリア用：新規住宅着工件数は 2023 年に入りマイナスに転じたことでインテリア需要は落ち込み、また、新型コロナ禍で需要が伸長してきたマスク、除菌シート等の需要は減速した。おむつ関連需要は生産・輸出の落ち込みから減少となった。その一方、生活資材関連の需要は安定した推移となった。

産業資材用：自動車生産は 2023 年に入り、自動車用繊維品需要に明るさ。住宅着工、建築受注についてはやや減速または減少に転じたことで、土木、建築用の需要の先行きに懸念がみられる。

- 2) 繊維工業の生産活動は、2021 年以降、新型コロナ禍からの回復傾向で推移してきたものの、2023 年に入ると減産に転じた。第 2 四半期の生産指数は、繊維工業全体では 98.8 と前年同期 (100.9) から下落。そのうち、化学繊維を含む繊維は 99.9 と前年同期 (107.8) に比べ 7.9 ポイント下落した。上昇したものの、2021 年第 3 四半期以降下落している。織物、染色整理は前年同期に比べ上昇した。

繊維需要関連の各種指標

(前年比増減：%)

	百貨店 衣料品売上	量販店 衣料品売上	自動車 生産	新規住 宅着工	建築 受注
2019	-4.0	-7.1	-0.5	-4.0	2.2
2020	-31.1	-16.9	-16.7	-9.9	-7.0
2021	3.5	-1.9	-2.7	5.0	2.0
2022	14.2	4.0	-0.1	0.4	7.1
2023 上半期	<b>11.9</b>	<b>2.3</b>	<b>19.0</b>	<b>-2.2</b>	<b>0.7</b>

繊維工業の段階別生産指数

(2020=100)

	繊維工業 全体	繊維	織物	染色整理	繊維製品 粗製品
2021年第3四半期	101.6	109.4	104.5	104.3	90.7
2021年第4四半期	101.9	110.3	105.7	102.5	89.6
2022年第1四半期	103.0	111.0	105.6	102.5	90.2
2022年第2四半期	100.9	107.8	106.8	100.8	87.6
2022年第3四半期	100.4	106.9	109.7	102.6	96.9
2022年第4四半期	100.0	104.2	109.5	103.4	87.1
2023年第1四半期	98.5	101.7	109.1	103.2	84.1
2023年第2四半期	98.8	99.9	114.6	103.2	83.8

3) 繊維品輸出は、ドルベースで36.2億ドル・前年同期比(以下同じ)5.3%減、一方、円ベースで4,886億円・3.9%増と円安の影響もあり、ドルベースで減少、円ベースで増加となった(数量ベースでは5.6%減)。

形態別(円ベース)では、繊維原料562億円・0.7%減、糸類595億円・1.6%増、織物1,272億円・3.1%増、二次製品他2,458億円・6.0%増となった。

仕向地別(円ベース)では、全体の27%のシェアを占める中国が8.2%増の1,316億円。韓国(3.2%減)、台湾(1.3%減)、香港(11.1%減)はいずれも減少した。アセアン地域は、ベトナム(8.1%増)、タイ(3.8%増)が増加、全体で7.3%増の1,175億円、シェアは24%と中国に肉薄した。米州は2.2%減と減少したが、欧州は3.4%増と増加した。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで162.7億ドル・前年同期比(以下同じ)3.1%減、一方円ベースは2兆1,880億円・6.3%増。

形態別(円ベース)では、繊維原料453億円・1.3%減、糸類717億円・2.4%減、

織物 751 億円・0.8%増となった。二次製品他 1 兆 9,958 億円。二次製品は全体で 7.0%増、そのうち、主力の衣類は、国内需要の回復もあり 9.6%増となった。

仕出地別では、全体の 51%を占める中国が 0.2%増の 1 兆 1,259 億円。韓国(5.0%増)、台湾(10.7%減)となった。アセアン地域は、ベトナム(18.1%増)、インドネシア(14.4%増)、タイ(4.4%増)が増加、全体で 15.0%増となった。アセアンのシェアは前年同期から 2 ポイント上昇、30%となった。欧州(28.5%増)は大幅増も米州(1.6%減)は減少した。

#### 繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2022年	2022年 1～6月	2023年 1～6月	前年比(%)
輸出	千ドル	7,632,562	3,825,255	3,621,498	-5.3
計	百万円	1,002,608	470,441	488,627	3.9
繊維原料	百万円	114,428	56,584	56,160	-0.7
糸類	百万円	120,291	58,528	59,471	1.6
織物類	百万円	265,565	123,459	127,228	3.1
二次製品他	百万円	502,323	231,870	245,769	6.0
輸入	千ドル	36,691,501	16,792,333	16,269,303	-3.1
計	百万円	4,846,578	2,058,886	2,187,951	6.3
繊維原料	百万円	98,093	45,843	45,258	-1.3
糸類	百万円	155,447	73,473	71,723	-2.4
織物類	百万円	159,387	74,566	75,127	0.8
二次製品他	百万円	4,433,651	1,865,004	1,995,843	7.0
(うち衣類)	百万円	(3,495,735)	(1,439,013)	(1,577,021)	9.6
輸出レート	円/ドル	131.4	123.0	134.9	9.7
輸入レート	円/ドル	132.1	122.6	134.5	9.7

(出所) 財務省

5) 2023 年上半期の化繊生産は前年同期比 7.5%減の 35.4 万トンとなった。うちセルロース繊維は同 4.6%増の 8.3 万トン、合繊は同 10.7%減の 27.1 万トンであった。合繊生産を品種別にみると、ナイロン F は同 1.7%減の 3.6 万トン、ポリエステル F は同 12.1%減の 4.3 万トン、同 S は同 19.2%減の 3.1 万トン、アクリル S は同 12.0%減の 4.3 万トンとなった。

6 月末在庫は前年同期比 7.0%増の 10.0 万トンとなった。うちセルロース繊維は同 10.9%減の 2.4 万トン、合繊は同 13.6%増の 8.3 万トンとなった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は前年同期比 4.4%減の 22.9 万トンとなった。

形態別は、繊維原料は同 12.2%減の 7.4 万トン、糸類は同 7.6%減の 4.7 万トン、織物類(面積ベース)は同 0.6%減の 2.73 億㎡、二次製品は同 4.4%増の 6.6 万トンで

あった。

品種別は、セルロースSは前年同期比11.5%増、ナイロンFは同2.7%減、ポリエステルFは同17.5%増、ポリエステルSは同17.7%減、アクリルSは同11.6%減となった。化繊不織布は同1.8%減の3.1万トとなった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は前年同期比0.9%減の72.9万ト。

形態別は、繊維原料は同2.8%増の5.3万ト、糸類は同7.2%減の10.0万ト、織物類（面積ベース）は同1.3%増の3.11億㎡、二次製品は同0.0%増の51.5万ト、そのうち衣類は同6.1%増の20.8万トとなった。

品種別は、セルロースSは同13.9%減、ナイロンFは同18.4%減、ポリエステルFは同4.8%減、同Sは同6.9%増となった。化繊不織布は同2.7%減の11.9万トとなった。

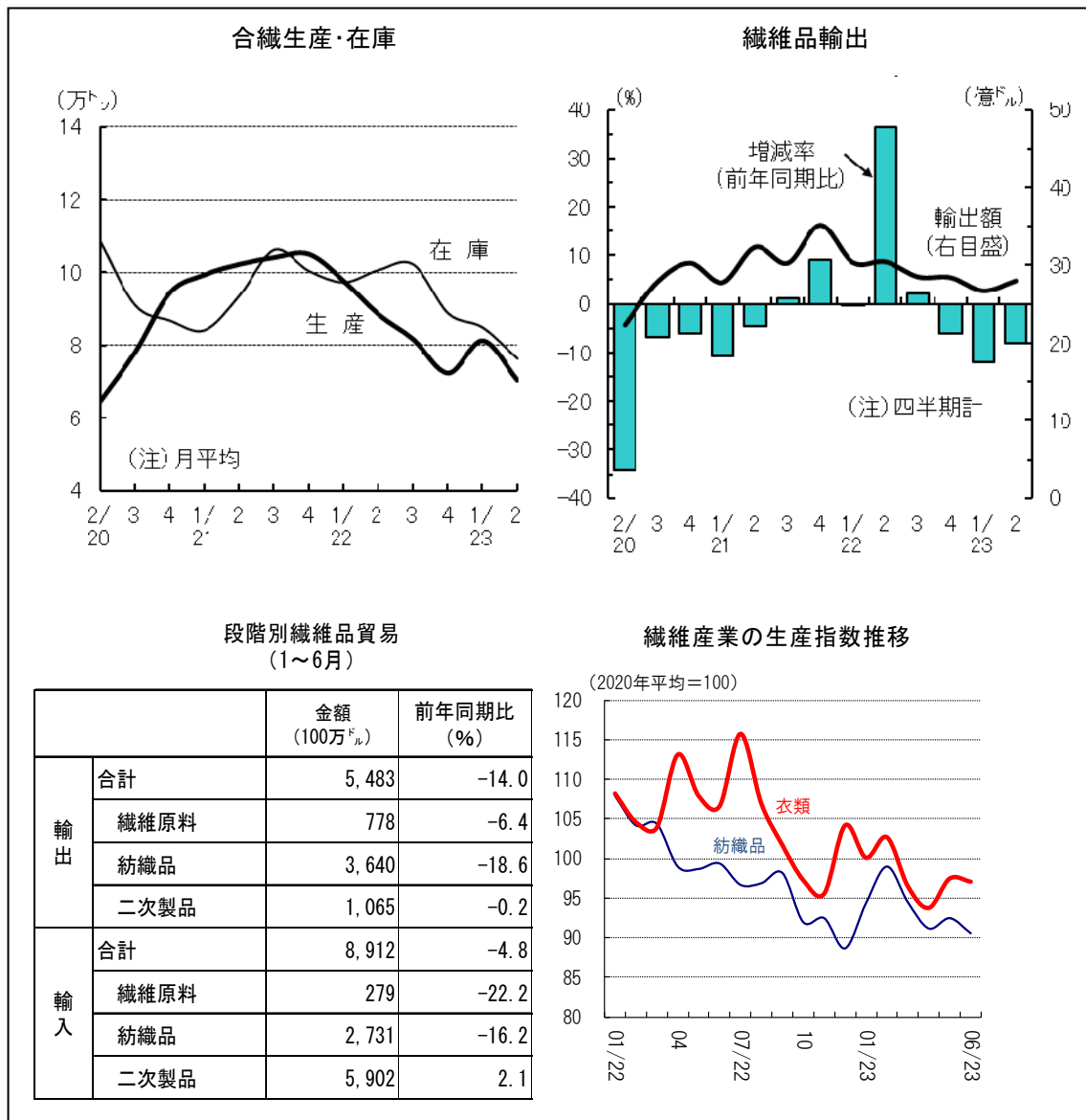
#### 化学繊維の主要指標

項目	単位	2022年	2022年 1～6月	2023年 1～6月	前年比(%)
化繊生産	ト	736,710	383,054	354,277	-7.5
セルロース	ト	151,697	79,207	82,890	4.6
合 織	ト	585,013	303,847	271,387	-10.7
期末化繊在庫	ト	97,829	99,535	106,497	7.0
セルロース	ト	21,856	26,935	23,991	-10.9
合 織	ト	75,973	72,600	82,506	13.6
化繊輸出	ト	477,928	239,465	229,036	-4.4
	1000ドル	4,636,014	2,323,213	2,230,687	-4.0
	百万円	608,846	285,528	300,944	5.4
繊維原料	ト	160,218	84,506	74,159	-12.2
糸 類	ト	99,429	50,939	47,067	-7.6
織物類	百万㎡	568,126	274,618	272,859	-0.6
二次製品	ト	133,528	63,359	66,170	4.4
化繊輸入	ト	1,637,568	735,629	729,004	-0.9
	1000ドル	17,184,685	7,140,572	7,283,880	2.0
	百万円	2,284,007	874,486	979,336	12.0
繊維原料	ト	104,242	51,962	53,427	2.8
糸 類	ト	209,174	107,651	99,898	-7.2
織物類	百万㎡	626,009	306,833	310,907	1.3
二次製品他	ト	1,200,721	514,387	514,506	0.0
(うち衣類)	ト	545,615	195,725	207,659	6.1

(出所) 経済産業省、財務省

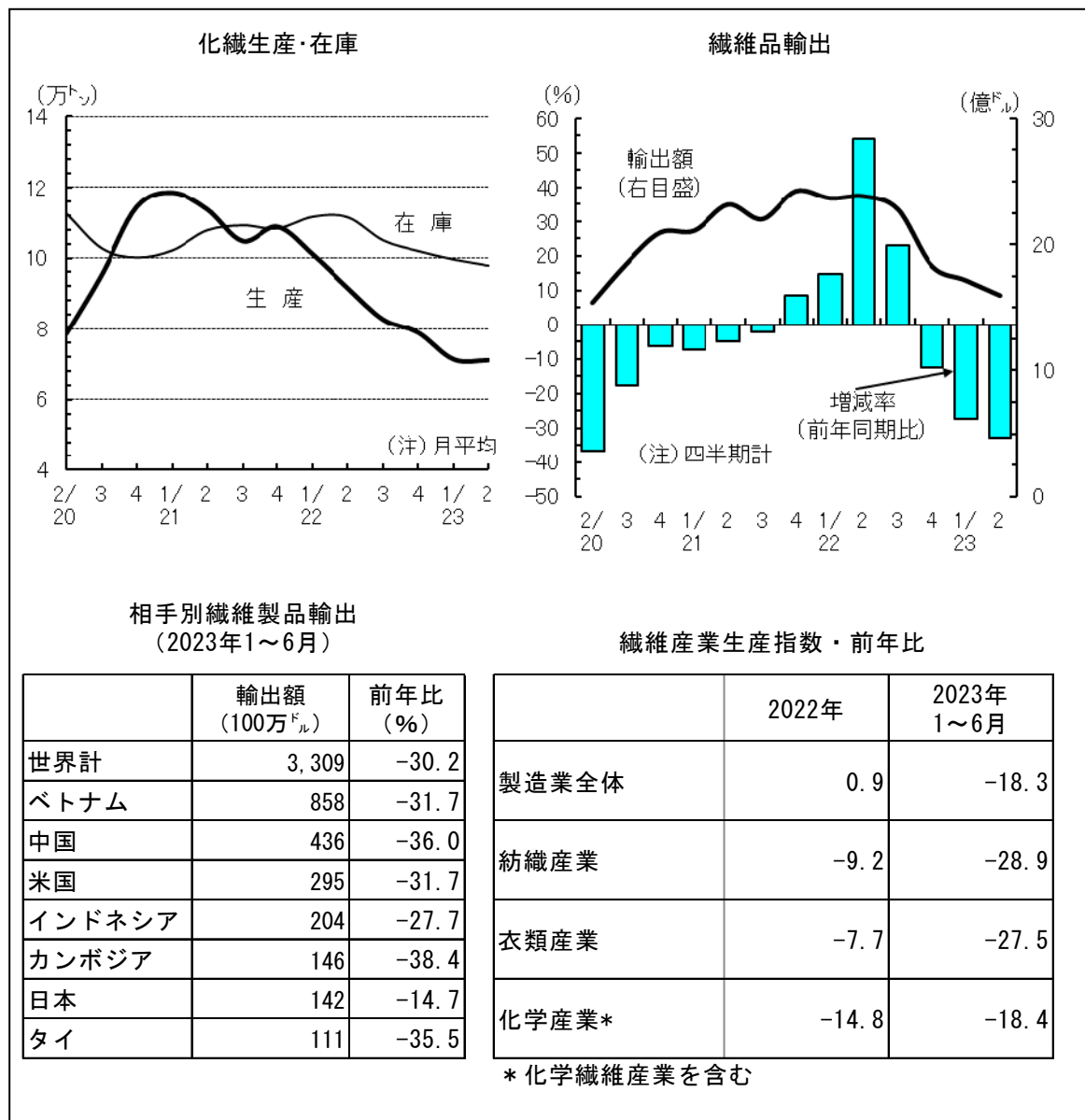
(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

(6) 韓国



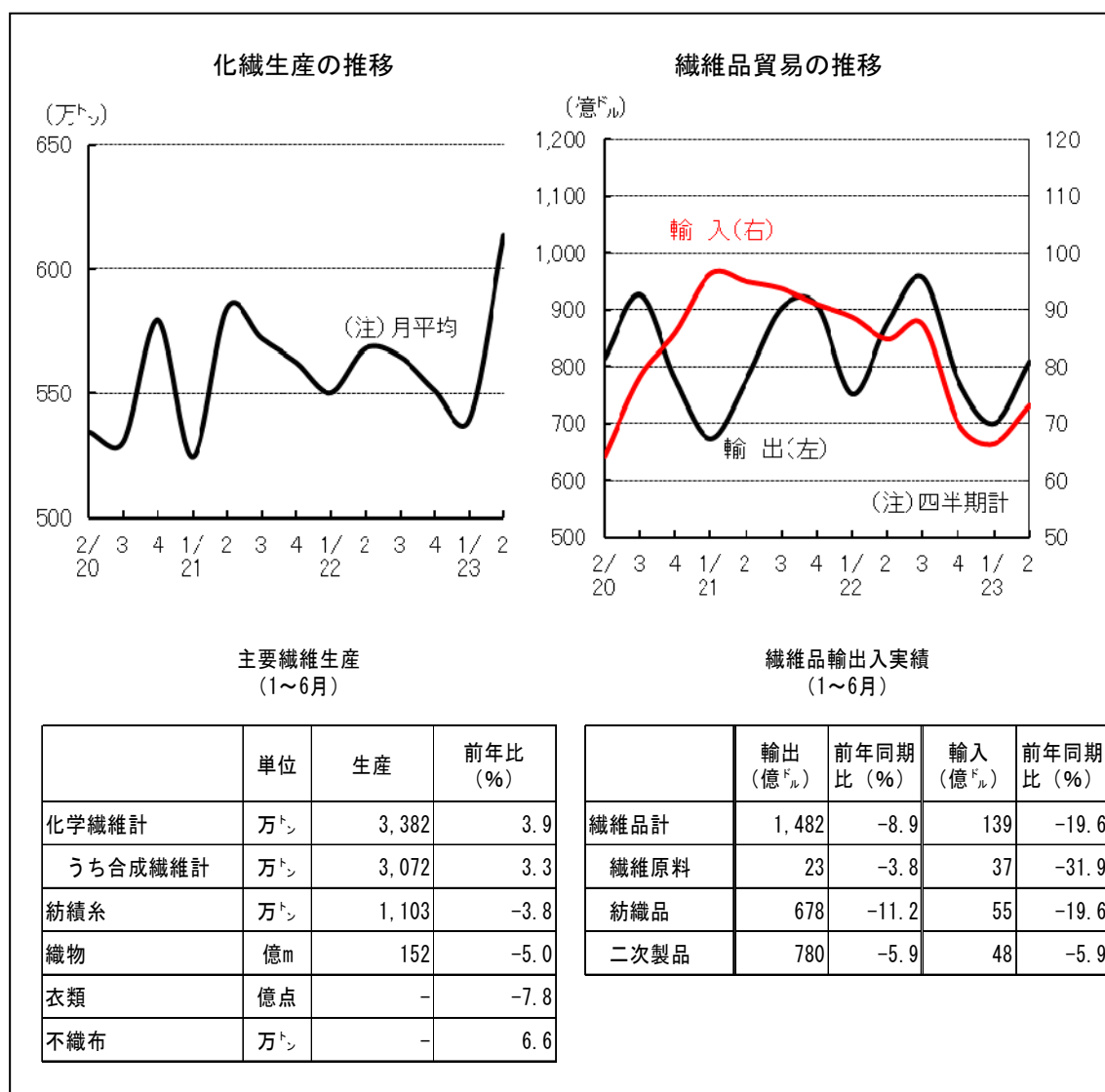
- ◆2023 年上半期の合繊生産、繊維品輸出とも大幅に減少した。
- ◆2023 年上半期(1-6 月)の合繊生産は前年同期比 18.5%減の 45.5 万<sup>ト</sup>の大幅減となった。主要合繊の生産は、ナイロンFは同 44.0%減の 1.2 万<sup>ト</sup>、ポリエステルFは同 33.0%減の 15.9 万<sup>ト</sup>の大幅減となった。いずれも内需、輸出とも不振であった。ポリエステルSは同 1.4%減の 26.8 万<sup>ト</sup>、アクリルSは同 42.4%減の 1.5 万<sup>ト</sup>であった。
- ◆2023 年上半期の繊維品輸出は前年同期比 10.0%減の 54.8 億<sup>円</sup>となった。主力の紡織品輸出が同 18.6%の大幅減となった。一方、繊維品輸入は同 4.8%減の 89.1 億<sup>円</sup>となった。

(7) 台湾



- ◆2023年上半期の化繊生産、繊維品輸出とも大幅な減少となった。
- ◆2023年上半期の化繊生産は前年同期比 26.0%減の 42.7 万トとなった。主要合繊の生産は、ナイロンFは同 32.4%減の 5.8 万ト、ポリエステルFは同 29.9%減の 22.1 万ト、同Sは同 10.2%減の 14.5 万トであった。
- ◆2023年上半期の繊維品輸出は前年同期比 30.2%減の 33.1 億ドルとなった。繊維品輸出を相手別にみると、最大のベトナム向けは同 31.7%減、第2位の中国は同 36.0%減、第3位の米国は同 31.7%減と軒並み3割を超える大幅減となった。
- ◆2023年上半期の生産指数は、紡織産業、衣類産業とも3割近い大幅な減少となった。

(8) 中国



- ◆2023年上半期は、規模以上の繊維企業の工业增加值（GDPに相当）は前年同期比3.0%減となった。繊維企業の売上は同5.1%減、利益は同21.3%減、原料コストの上昇と海外を中心とした需要不振から繊維企業の経営は不振となった。
- ◆2023年上半期の主要繊維生産は、化学繊維は前年同期比3.9%増の3,382万トンの増産となったが、紡績系は同3.8%減、織物は同5.0%減、衣類は同7.8%減といずれも減少した。化学繊維生産のうち、ポリエステルは同0.04%増、ナイロンは同1.3%増となったが、レーヨンSは同32.7%の大幅減となった。
- ◆2023年上半期の繊維品輸出は前年同期比8.9%減の1,482億ドルとなった。中国の繊維品輸出は前年に過去最高となったが2023年は一転、海外需要の不振から落ち込んだ。一方、繊維品輸入は同19.6%減の139億ドルとなった。



繊維業界の主要指標  
(1～6月)

	単位	指標	前年比 (%)
紡織産業売上額	億元	10,711	-4.9
衣類産業売上額	億元	5,617	-8.1
化繊産業売上額	億元	5,021	-2.1
紡織産業利益額	億元	262	-23.8
衣類産業利益額	億元	245	-3.1
化繊産業利益額	億元	58	-55.5
紡織産業実際投資	前年比	-	-2.0
衣類産業実際投資	前年比	-	-5.3
化繊産業実際投資	前年比	-	-7.0

社会小売財消費総額  
(1～6月)

	単位	数値	前年比 (%)
商品売上総額	億元	227,588	8.2
うち服装類	億元	6,834	12.8

繊維関連物消費者物価指数  
(1～6月)

	前年同期比 (%)
消費者価格指数・全製品	0.7
消費者価格指数・衣類等	0.8

- ◆繊維産業の主要経営指標をみると、2023年上半期の売上額は、紡織、衣類、化繊産業それぞれ前年同期比4.9%減、8.1%減、2.1%減となった。また、利益額は紡織、衣類、化繊産業それぞれ23.8%減、3.1%減、55.5%減と、原料価格高騰の影響もあり、化繊、紡織で特に悪化した。2023年上半期の投資額は、紡織が同2.0%減、衣類が同5.3%減、化繊が同7.0%減となった。
- ◆2023年上半期の社会小売材の消費総額（服装類）は前年同期比12.8%増と前年の減少から大きく回復した。同期間の衣料品インターネット小売販売額は同13.8%増と好調であった。

## 9) 米 国

### ・輸 入

2023年の1～7月の繊維製品輸入は前年同期比21.9%減の612.9億ドルとなった。大幅減の要因には前年の反動もあるとみられ、新型コロナウイルスの影響を受けない2019年同期(649.0億ドル)との比較では5.6%減となった。

仕出地別にみると、最大仕出国の中国が28.0%減の139.7億ドルであったほか、ベトナムが24.4%減の88.6億ドル、インドが23.3%減の54.7億ドル、バングラデシュが20.4%減の46.9億ドルと主要仕出国はいずれも2～3割減となった。

衣類の輸入も22.3%減の457.5億ドルと大幅に減少した。仕出地別では中国が前年同期比28.7%減の91.3億ドルと大幅に減少したほか、ベトナムが24.8%減の82.1億ドル、バングラデシュが19.8%減の45.7億ドル、インドが21.1%減の29.1億ドルなど、いずれも大きく減少した。

### 繊維製品輸入実績（1～7月）

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2022年	2023年	前年比(%)	仕出地	2022年	2023年	前年比(%)
中国	19,408	13,965	-28.0	中国	12,808	9,126	-28.7
ベトナム	11,715	8,855	-24.4	ベトナム	10,913	8,211	-24.8
インド	7,133	5,470	-23.3	バングラデシュ	5,697	4,568	-19.8
バングラデシュ	5,894	4,689	-20.4	インド	3,695	2,914	-21.1
インドネシア	3,769	2,806	-25.6	インドネシア	3,407	2,478	-27.3
世界	78,454	61,290	-21.9	世界	58,857	45,747	-22.3

(出所) 米商務省

### ・企業・業界動向

- 米商務省は3月1日、中国から輸入されるポリエステル短繊維に対する3回目のアンチダンピング(AD)サンセットレビュー(AD措置延長を判断するための調査)を開始すると発表した。今回の調査は2007年6月に正式にAD措置が開始されて以降、2012年10月と2018年2月の2回の措置延長に続く調査。
- 米国不織布工業会(INDA)は、2022年の北米の不織布生産能力は前年比2.4%増の556.5万トンであったと発表した。同報告書によると北米の不織布生産能力は5年連続で増加している。
- 不織布メーカーWPT Nonwovensは国防関連フィルター市場向けに生分解性を有するPLA繊維ベースの不織布を生産開始すると発表した。WPT Nonwovensは2008年創業で、スパンボンド、ニードルパンチ、ウェットレイド不織布を生産、フィルターの他、医療・衛材、産業分野で使用されている。同社によると今回の新設はバイ・アメリカン法(BAA)<sup>1</sup>Berry修正条項<sup>2</sup>に準拠するものであるとしている。

<sup>1</sup> バイ・アメリカン法(BAA) Berry修正条項：連邦政府が調達する物品につき、「国内最終製品」と認められるには(1)米国内で製造されており、(2)部材の費用全体の55%超が米国で製造されていることを求める法律。

<sup>2</sup> Berry修正条項国防総省が調達する食糧や衣料品等を、米国で生産されたものに限るとする法律。

## 10) 欧州

### ・輸 入

2023年1～6月期のEU27域外繊維製品輸入は、604億ユーロと前年比11.6%減少した。仕出地別にみると中国（165億ユーロ、18.5%減）の他、主要仕出国・地域であるバングラデシュ（94億ユーロ、12.0%減）、トルコ（78億ユーロ、13.3%減）、ASEAN（65億ユーロ、14.4%減）はいずれも前年同期の反動もあって減少した。

最大仕出国である中国の、域外輸入全体に占める割合は27.4%と前年同期の29.7%から、また2020年の45.3%から縮小した。

EU27の域外繊維製品輸入（2023年1～6月期）

(100万ユーロ、%)

国・地域	2020	2021	2022	2023	前年比
世界計	60,410	53,978	68,369	60,427	-11.6
中国	27,338	16,978	20,273	16,529	-18.5
バングラデシュ	6,214	6,732	10,702	9,413	-12.0
トルコ	5,367	6,914	8,991	7,791	-13.3
ASEAN	5,619	6,991	7,535	6,452	-14.4
ベトナム	1,700	1,812	2,371	2,293	-3.3
カンボジア	1,161	1,017	1,570	1,440	-8.3
ミャンマー	840	706	1,076	1,035	-3.8
インドネシア	654	671	843	666	-20.9
タイ	424	623	604	430	-28.8
マレーシア	678	2,016	869	385	-55.6
インド	2,635	3,221	4,505	3,960	-12.1
英国	2,824	1,808	1,528	1,648	7.9
チュニジア	955	1,084	1,328	1,489	12.2
モロッコ	927	1,226	1,614	1,443	-10.6
米国	731	759	900	1,153	28.1
スイス	748	719	825	1,007	22.1
韓国	514	504	715	579	-18.9
日本	391	392	509	537	5.6
エジプト	332	369	544	510	-6.1

(出所) Eurostat

(注)EU域内に英国を含まない。

### ・企業動向

- ・ スペインのナイロンメーカーNylstarが1月、破産手続きに入った。同社は1923年設立のSAFAが発祥、1989年にフランスの化学メーカーに買収されたのち、1994年にイタリアのナイロンメーカーSniaとの間に設立された。
- ・ ドイツのポリエステル繊維メーカーTrevira GmbHがIndorama Ventures Fibers Germany GmbHに社名変更。
- ・ トルコ貿易省は中国産合繊長繊維織物へのAD措置に関し、課税回避のため北マケドニアおよびボスニア・ヘルツェゴビナの迂回輸入があると判断、それぞれ0～42.44%のAD関税を課すと決定した。

## 合繊4品種需要実績(2023年1～6月)

### I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2023年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	37,793	97.8	90.9
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	69,287	99.0	93.4
	計 (輸入)	107,079 (65,188)	98.6 (103.3)	92.5 (95.2)
輸出 (原糸、加工糸)		1,637	116.5	138.4
需要計		108,717	98.8	93.0
在庫		8,208	89.9	92.2

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2023年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	9,343	106.4	105.8
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	56,111	98.8	97.0
	計 (輸入)	65,452 (36,736)	99.8 (107.8)	98.2 (106.9)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		2,086	91.4	59.8
需要計		67,538	99.5	96.3
在庫		11,449	94.9	82.9

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2023年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	8,139	95.0	103.7
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	26,652	96.3	94.8
	計 (輸入)	34,791 (11,643)	96.0 (86.2)	96.7 (81.6)
輸出 (原糸、加工糸)		12,176	99.4	102.8
需要計		46,967	96.9	98.2
在庫		11,814	102.1	108.3

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2023年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	11,542	141.8	93.6
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,965	117.9	90.2
	計 (輸入)	14,507 (449)	136.2 (103.5)	92.9 (75.5)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		27,169	103.3	81.0
需要計		41,676	112.8	84.8
在庫		22,515	111.3	163.7

(注)国内需要の( )内数値は輸入量